

「北海道をさらに不便にしようというのですか？」

平成 28 年 11 月 22 日

●川口雅博さんからの質問

JR 北海道について。JR 北海道では赤字路線の廃止もしくは周辺自治体へ負担を求める方向になっています。どう思われますか？そもそも国鉄の分割民営化が間違っていたと考えます。さらに悪いことに分割民営化してしまったこと。自民党政治の失政の付けを周辺住民が支払うなんておかしいと思うのですが。そもそも北海道はインフラ投資が全然足りず不便なのに今以上に不便にしようというのでしょうか？西田議員のお考えをお聞かせください。

●西田昌司の答え

1987 年に JR は分割民営化されて 7 つの会社が生まれましたが、上場した JR 東日本・JR 東海・JR 西日本・JR 九州の 4 社がある一方で、非上場の JR 北海道・JR 四国・JR 貨物の 3 社は上場の目処が全く付きませんし、勝ち組と負け組に分かれてしまっています。今となっては分割民営化はかなり問題があったことが明白ですし、再統合すべきというのが私の意見です。

(JR 九州は上場したばかりなので詳しい数字を把握しておりませんが、) JR 東日本・JR 東海・JR 西日本の 3 社の時価総額は約 8 兆 5 千億円ですし、非上場の 3 社は国が所有する形となっていますので、10 兆円もあれば政府が JR グループに対して TOB をかけて買収することも可能です。今は国債の金利がゼロなので、買収に必要な資金を建設国債発行によって調達しても利子の負担はありません。それどころか JR 東日本・JR 東海・JR 西日本の 3 社の毎年の配当は 1 千億円ありますので、10 年経てば 1 兆円が政府に入る計算になります。そうやって 10 年の間に再統合して必要な仕事をし

て、10年後に株を売却してしまえば良いのです。

JR 北海道や JR 四国は財政基盤が非常に弱いので、JR 北海道と JR 東日本を合併させたり、JR 四国と JR 西日本（あるいは JR 東海）を合併させたりといったこともしなければなりません。また、日本全国に新幹線ネットワークを張り巡らせて、貨物列車に新幹線のカウリングを被せて新幹線と一緒に走らせれば、人手不足が深刻なトラック業界の問題などは一気に解決してしまいます。新幹線ネットワークは、トラックよりもずっとスピーディーで効率の良い物流手段となりえますし、そういった環境を整えれば JR 貨物も華々しく変身することでしょう。

私は今、北陸新幹線敦賀以西ルートを議論する与党検討委員会の委員長を務めていますが、その仕事が落ち着いたら上のような議論をしっかりとやっていきたいと思っています。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>